

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括弧	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月							5月							6月							7月							8月							備考
				26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	3	10	17	24									
放射性廃棄物の保管管理・処理・処分計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・足場材貸出による再利用	検討・設計	カレキ減容・運搬・保管																																		
			(予定) ・足場材貸出による再利用	推進作業	足場材貸出による再利用																																		
	固体廃棄物貯蔵庫の設置	(実績) ・運用中	(実績)	検討・設計	カレキ減容・運搬・保管																																		
			(予定)	推進作業	運用中																																		
	大型廃棄物保管庫の設置	(実績) ・準備工事(掘削、地盤改良等)	(実績)	検討・設計	カレキ減容・運搬・保管																																		
			(予定)	推進作業	準備工事 2019年6月3日～2020年2月25日 基礎工事 工程調整中 鉄骨・外壁・屋根工事 工程調整中																																		
	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(実績) ・運用中 ・雨水浸透防止追加対策工事	(実績)	検討・設計	カレキ減容・運搬・保管																																		
			(予定) ・雨水浸透防止追加対策工事	推進作業	運用中 雨水浸透防止追加対策工事																																		
	一時保管エリアの追設/拡張	(実績)	(実績)	検討・設計	カレキ減容・運搬・保管																																		
			(予定)	推進作業	2017年6月14日：使用前検査(エリアG12槽分) 2017年8月9日：使用前検査(エリアG22槽分)																																		
2. 保管適正化の推進	雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転 (A・B系)	【A系】	処理運転																																			
		(予定) ・処理運転 (A・B系)	【B系】	処理運転																																			
		焼却停止、点検	推進作業	焼却停止、点検																																			
増設雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・建物付帯(給排水衛生・電気・消防)設備工事 ・内装塗装工事 ・外構建築(雨水側溝)工事 ・外構他工事(土木(廃棄物基盤G)、防護管理G) ・主要機器搬入、据付工事	(予定) ・建物付帯(電気・消防)設備工事 ・内装塗装工事 ・外構他工事(土木(廃棄物基盤G)) ・主要機器搬入、据付工事、系統試験	検討・設計	建物付帯設備(電気・消防)工事																																			
			推進作業	土木工事(道路・雨水側溝)																																			
			推進作業	煙道搬入・据付工事																																			
			推進作業	配管・空調ダクト等設備工事																																			
			推進作業	系統試験																																			

詳細日程は調整中

実績反映

最新工程反映

【A系】
・温度計の損傷原因について調査継続。
・焼却停止2020年4月5日
・バグフィルタホッパ下部、焼却灰堆積があり清掃実施
焼却処理運転再開 2020年4月11日～

【B系】
・温度計の損傷原因について調査継続。
・焼却停止2020年4月15日
・排ガス補助フロア出口排ガスラインのフランジ部からの漏えいのため焼却停止。フランジ部の締付ボルトの緩みが原因であったため、増し締めを行い、漏えい停止が確認できたことから、焼却処理運転再開 2020年4月30日～。緩みの原因について調査継続。

【建物付帯設備工事】
・2021年3月：竣工予定
・2020年2月13日：実施計画認可
・使用前検査
詳細協議の上、2020年6月下旬にて調整中。
・電気工事：増設廻り 接地線、電話工事
・配管工事：増設廻り 配電柱設置、架線敷設工事

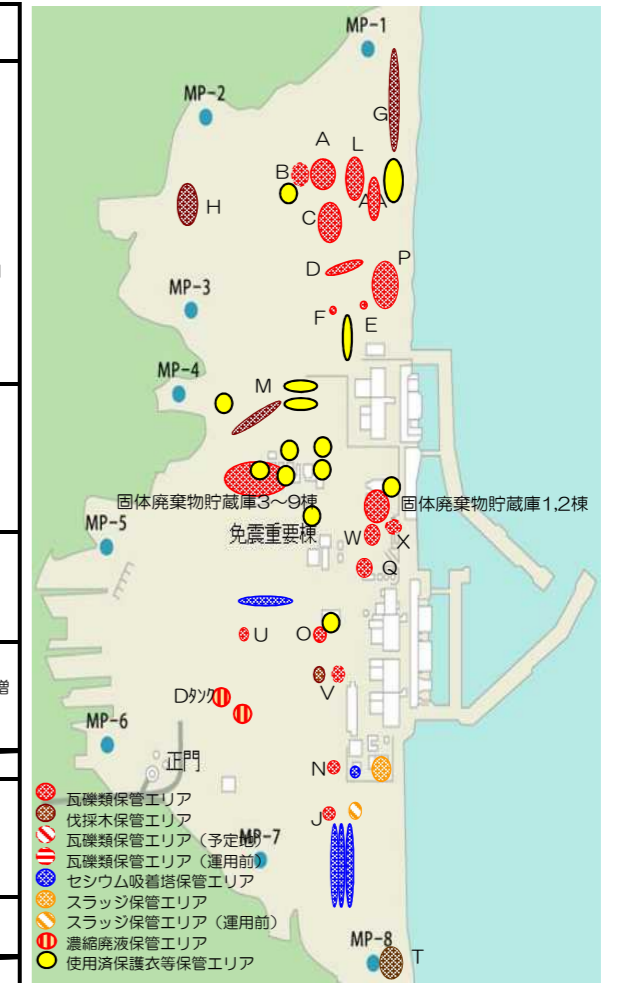
【土木工事】
・増設廻り ppフェンス工事、雨水排水側溝、道路工事

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月				5月				6月				7月		8月		備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
保管理計画		除染装置 (AREVA) スラッジ	(実績) ・スラッジ対処方法及び除染方法検討 ・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽 (D) 除塩	スラッジ対処方法検討																・スラッジ除染方法検討完了 2018年6月27日
			(予定) ・建屋内除染	建屋内除染																・建屋内除染 2019年5月7日～2020年12月予定 ・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽 (D) 除塩 : 2018年9月10日～2020年3月27日
保管理計画		ALPSスラリー 安定化設備	(実績) ・安定化設備の設計検討	安定化設備の設計検討																
			(予定) ・安定化設備の設計検討																	
固体廃棄物の保管理	処理・処分計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	(実績) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	一時保管エリアの保管量、線量率集計				一時保管エリアの保管量、線量率集計				一時保管エリアの保管量、線量率集計								
			(予定) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	ガレキ等の将来的な保管方法の検討																
固体廃棄物の保管理	処理・処分計画	4. 固体廃棄物の性状把握	(実績) ・【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 ・【研究開発】JAEAにて試料の分析 (現場: JAEA東海等) ・分析試料のJAEA東海・民間分析施設への輸送	ガレキ等の将来的な保管方法の検討																・これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている https://fukushima.jaea.go.jp/hairo/work/tech-info.html
			(予定) ・【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 ・【研究開発】JAEAにて試料の分析 (現場: JAEA東海等)	線量低減対策検討																・多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取
固体廃棄物の保管理	処理・処分計画	5. JAEA分析・研究施設の整備 (施設管理棟、第1棟、第2棟)	(実績) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付等)	一時保管エリアの保管量確認、線量率測定				一時保管エリアの保管量確認、線量率測定				一時保管エリアの保管量確認、線量率測定								
			(予定) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付(継続)等)	ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続																瓦礫: 建屋瓦礫を分析中。2号機原子炉建屋外壁及び屋上、4号機原子炉建屋内盤類等のデータを取り纏め。 汚染水: 建屋滞留水を分析中。建屋スラッジを含む滞留水、処理水のデータを取り纏め。 水処理二次廃棄物: ALPS吸着材を分析中。活性炭吸着材のデータを取り纏め。
固体廃棄物の保管理	処理・処分計画	5. JAEA分析・研究施設の整備 (施設管理棟、第1棟、第2棟)	(実績) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付等)	【研究開発】JAEAにて試料の分析 (現場: JAEA東海等) 瓦礫の分析等 (α核種、β核種、γ核種)																・2017年 3月 7日: JAEA分析研究施設第1棟 実施計画変更認可 (原規規発第1703071号) ・2020年 5月20日: JAEA分析研究施設第2棟 実施計画変更認可申請
			(予定) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付(継続)等)	汚染水 (滞留水、処理水、建屋スラッジ) の分析等 (α核種、β核種、γ核種)																【施設管理棟】 ・2018年 2月28日: 竣工 ・2018年 3月15日: 運用開始
固体廃棄物の保管理	処理・処分計画	5. JAEA分析・研究施設の整備 (施設管理棟、第1棟、第2棟)	(実績) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付等)	水処理二次廃棄物 (吸着材) の分析等 (α核種、β核種、γ核種)				第1棟工事連絡通路等工事、主要内装設備等工事												
			(予定) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付(継続)等)	水処理二次廃棄物 (吸着材) の分析等 (α核種、β核種、γ核種)																【第1棟】 ・2017年 8月 7日: 杭工事完了 ・2018年11月15日: 地上1階躯体工事開始 ・2019年 3月15日: 地上2階躯体工事開始 ・2019年 7月22日: 地上3階躯体工事開始 ・2019年11月 7日: 鉄セルの搬入・据付開始

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.4.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2020.3.31 - 2020.4.30)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} / 保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	0.25	400 m ³	微減	③	0%	211000 / 266500 (79%)	<ul style="list-style-type: none"> フランジタンク解体片 2020年4月末時点でコンテナ1,033基保管。 エリアP1 コンテナ数: 627基 (2015年6月15日~) エリアAAコンテナ数: 406基 (2018年3月15日~) エリアAの運用変更により、保管容量(13,800m³)増加。(2020年1月) エリアAは1~30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。これら瓦礫類を固体庫に移動後、低線量率瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。
	B	屋外集積	0.01	5,300 m ³	0	—	100%		
	C	屋外集積	0.01未満	63,300 m ³	+100	②⑤	100%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0	—	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0	—	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	44,000 m ³	0	—	86%		
	P1	屋外集積	0.01未満	55,700 m ³	+1,000	①④⑤	87%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	6,000 m ³	0	—	100%		
AA	屋外集積	0.01未満	13,400 m ³	+300	④	37%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0	—	58%	42700 / 71000 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,300 m ³	0	—	89%		
	P2	シート養生	0.01	5,800 m ³	0	—	64%		
	W	シート養生	0.03	12,100 m ³	微増	①②⑥	41%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 容器(1~ 30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0	—	100%	17900 / 24600 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m³)増加。(2018年5月) エリアAの運用変更により、保管容量(7,100m³)減。(2020年1月)
	E2	容器 ^{※4}	0.01未満	1,200 m ³	0	—	68%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0	—	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	22,200 m ³	+400	②③⑥	46%	22200 / 48000 ^{※5} (46%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m³)増加。(2018年2月)
	合計(カレキ)				293,800 m ³	+1,700 m ³	—	72%	
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0	—	63%	97000 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	400 m ³	0	—	7%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0	—	88%	37300 / 41600 (90%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0	—	94%		
合計(伐採木)				134,300 m ³	0 m ³	—	77%		
保護衣 屋外集積	容器		0.02	44,100 m ³	-2,300 m ³	⑦	65%	44100 / 68300 (65%)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済保護衣等焼却量 7399t (2020年4月末累積) 焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1837本 (2020年4月末累積)
合計(使用済保護衣等)				44,100 m ³	-2,300 m ³	—	65%		

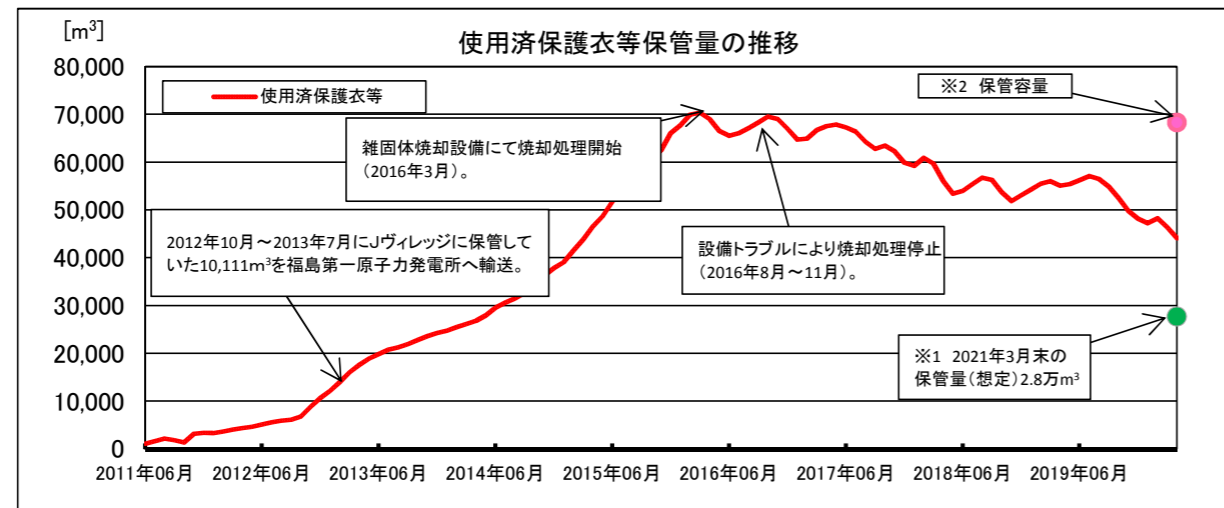
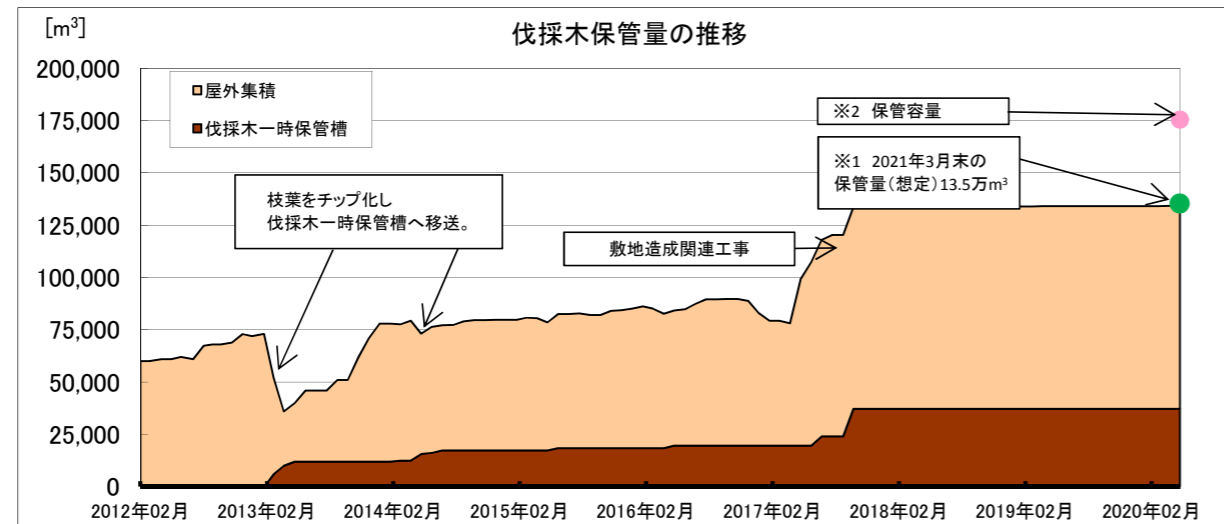
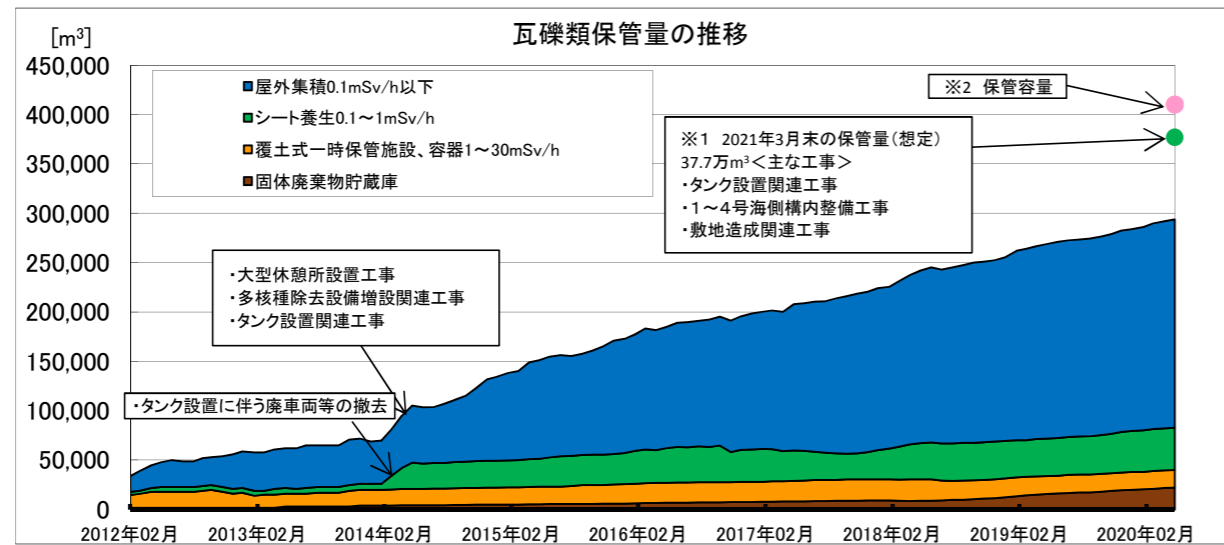
※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由: ①タンク関連工事 ②1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③エリア整理のための移動(A→固体庫) ④フランジタンク除染作業
 ⑤港湾関連工事 ⑥水処理設備関連工事 ⑦焼却運転
 ※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。
 ※5 最新値に更新(45600→48000)。



水処理二次廃棄物の管理状況(2020.5.7時点)

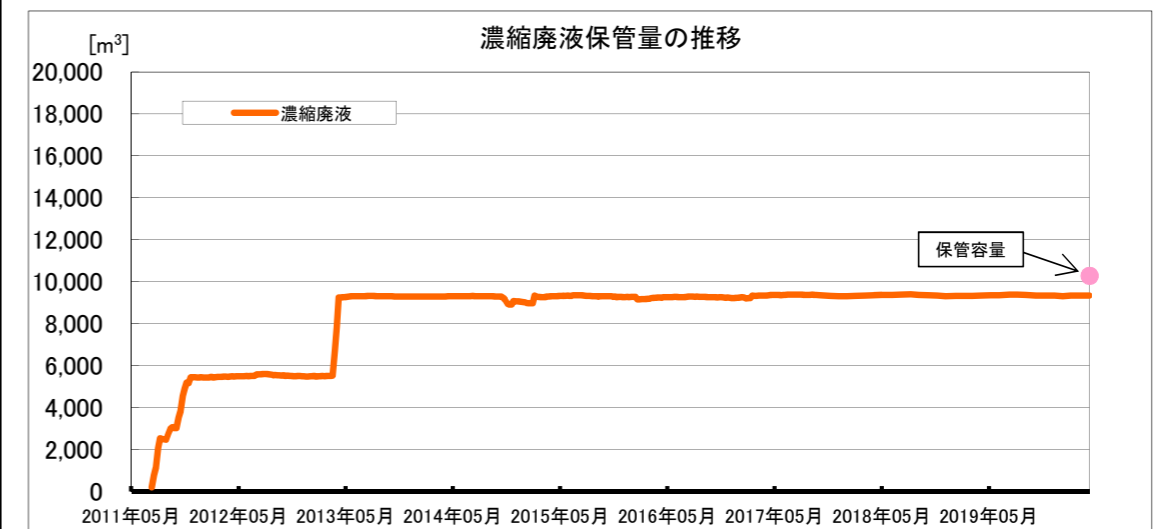
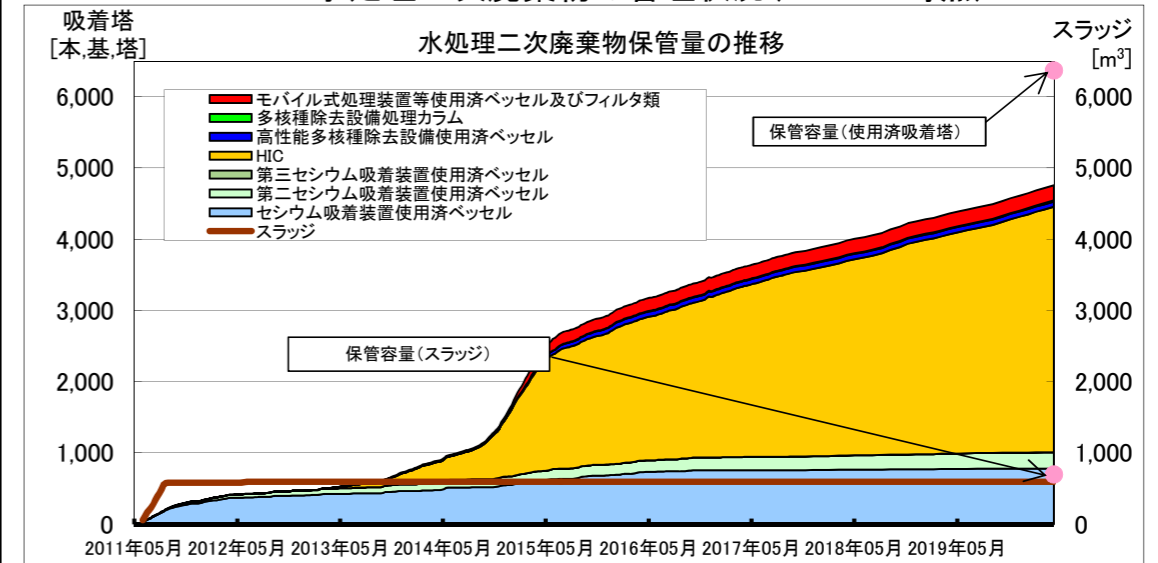
分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 (2020.4.3 - 2020.5.7)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	4759 / 6372 (75%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) 使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	230 本	0 本		
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	2 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,743 基	+16 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	17 塔	0 塔		
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	212 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		417 m ³	-180 m ³	417 / 700 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 Dビット除染作業終了に伴い廃スラッジの量が減少した。(2020年4月末)
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,357 m ³	+1 m ³	9357 / 10300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量: 9257 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.4.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.5.7時点)



廃炉・汚染水対策チーム会合／事務局会議資料
「瓦礫類・伐採木・使用済保護衣類等の管理状況」の訂正について

2020年5月28日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

- 「瓦礫類・伐採木・使用済保護衣類等の管理状況（2020.4.30）」の作成・確認を行っていたところ、当該資料内の固体廃棄物貯蔵庫の保管容量の値が、社内の管理値※と異なっていることを確認
- そのため、今月の資料において数値の訂正を実施した
 - 訂正前：45,600m³
 - 訂正後：48,000m³
- 当該資料は固体廃棄物の保管量を毎月更新してお示ししているものである一方で、固体廃棄物貯蔵庫の保管容量は頻繁に変更になる値ではない
- そのため、当該資料の作成に際して、保管容量の数値の変更管理を失念し、管理状況に応じた管理値の変更や、実施計画変更状況の反映をしていなかったものと推定
- 今後、原因の調査や、過去の会議資料における未更新の値の抽出し同様の訂正措置や再発防止対策を検討する

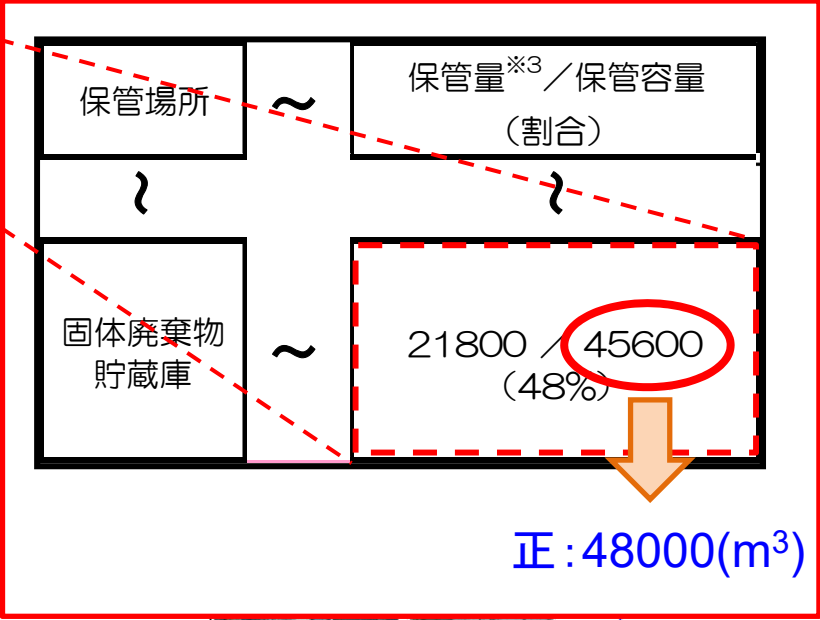
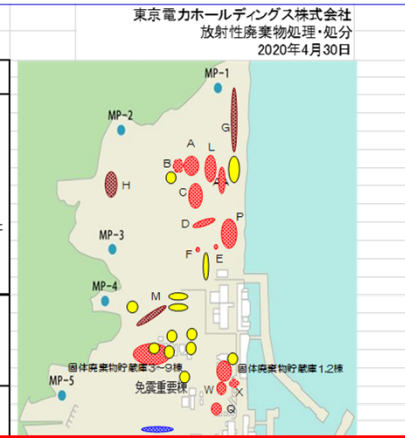
※実施計画で認可を得た値に対し、保管状況を考慮して設定した運用管理上の値（実施計画の値に対し余裕を持った少ない値で管理）

未更新箇所と更新後の値



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.3.31時点)									
分類	保管場所	保管方法	エリア別 空容積率 (m ³ /Sub)	保管量	前期末からの増減 ^{#1} (2020.2.28 - 2020.3.31)	変動 ^{#2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{#3} / 保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 (0.1m ³ /h以下)	A	屋外集積	0.21	400	m ³	南増	0%	209700 / 266500 (79%)	<ul style="list-style-type: none"> ・フランジタンク解体片 2020年3月末時点でコンテナ1,000基保管。 エリア1コンテナ数: 622基 (2015年6月15日~) エリアAAコンテナ数: 390基 (2018年3月15日~) ・エリアAの運用状況により、保管容量(13,800m³)増加。 (2020年1月) ・エリアAは1~30m³/hの瓦礫類を仮設集積中。これら瓦礫類を固体系に移動後、他保管庫瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。
	B	屋外集積	0.01	5,300	m ³	0	100%		
	C	屋外集積	0.01未満	63,100	m ³	-100	100%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³	0	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200	m ³	0	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600	m ³	0	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	44,000	m ³	+100	86%		
	P1	屋外集積	0.01未満	54,700	m ³	+500	85%		
	U	屋外集積	0.01未満	700	m ³	0	100%		
	V	屋外集積	0.01	6,000	m ³	+100	100%		
AA	屋外集積	0.01未満	13,100	m ³	+600	36%			
シート養生 (0.1~1m ³ /h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³	0	58%	42700 / 71000 (60%)	・エリアWでの車庫解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,300	m ³	+100	89%		
	P2	シート養生	0.01	5,800	m ³	0	64%		
	W	シート養生	0.03	12,100	m ³	+100	41%		
	X	シート養生	0.01	7,900	m ³	0	65%		
覆土式一時保管施設 容器 (1~30m ³ /h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000	m ³	0	100%	17900 / 24600 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> ・全瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4層の受入開始に伴い、保管容量(4,000m³)増加。 (2018年5月) ・エリアAの運用状況により、保管容量(1,000m³)増加。 (2020年1月)
	E2	容器 ^{#4}	0.01未満	1,200	m ³	南増	68%		
	F1	容器	0.01未満	600	m ³	0	99%		
	Q	容器	0.04	0	m ³	0	0%		
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{#4}	0.01	21,800	m ³	+700	48%	21800 / 45600 (48%)	<ul style="list-style-type: none"> ・全瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫3~9棟。 (2019年2月)
	合計(ガレキ)			292,000	m ³	+2,200	72%		
伐採木 (幹・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300	m ³	0	63%	97000 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³	0	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³	0	88%		
	V	屋外集積	0.01	400	m ³	+100	7%		
	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³	0	88%		
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³	0	94%			
合計(伐採木)				134,300	m ³	+100	77%		
保護衣 使用済	屋外集積	容器	0.02	46,400	m ³	-1,800	68%	46400 / 68300 (68%)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済保護衣等情報。 ・機組戻(プラスチック等)
	合計(使用済保護衣等)			46,400	m ³	-1,800	68%		

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.4.2時点)									
分類	保管場所	種類	保管量	前期末からの増減 ^{#1} (2020.3.31 - 2020.4.2)	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス			
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779	本	0	4718 / 6372 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> ・吸着塔一時保管施設の増設が認可(2015年12月14日)。 ・使用前提完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増設。 		
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	230	本	+2				
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	2	本	+1				
		多核種除去設備等保管容器	1,727	基	+8				
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	1,677	基	+17				
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74	本	0				
		多核種除去設備処理カラム	17	基	+2				
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	212	本	+2						
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ		597	m ³	0	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> ・除染装置の運転計画無く、新たに廃棄物が溜る見込みはない。 ・運転が暫くは、除染装置の停止について実施計画の更新申請を行う。 		
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,356	m ³	+11	9356 / 10300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9256 [m³] ・タンク容量~水位計の保管量(DS): 約100[m³] 		



正: 48,000(m³)